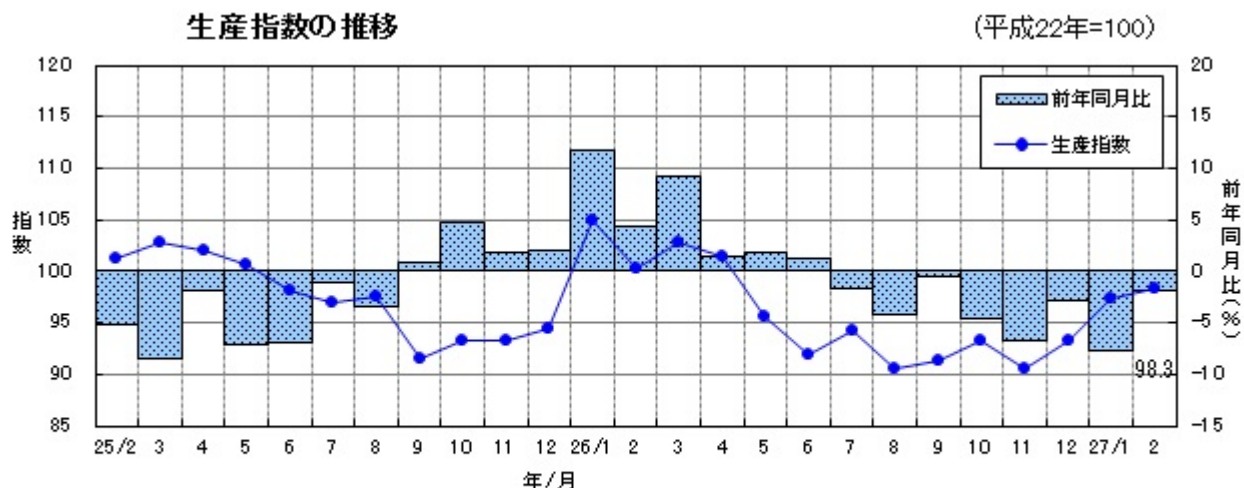


1 生産指数の動き

平成27年2月の鉱工業生産指数（季節調整済：平成22年=100）は**98.3**となり、**前月比は0.9%増と3か月連続して上昇**した。

また、**前年同月比（原指数）は1.9%減と8か月連続して前年を下回った**。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械、食料品・たばこ等が上昇する一方、電気機械、プラスチック製品、金属製品等が低下した。

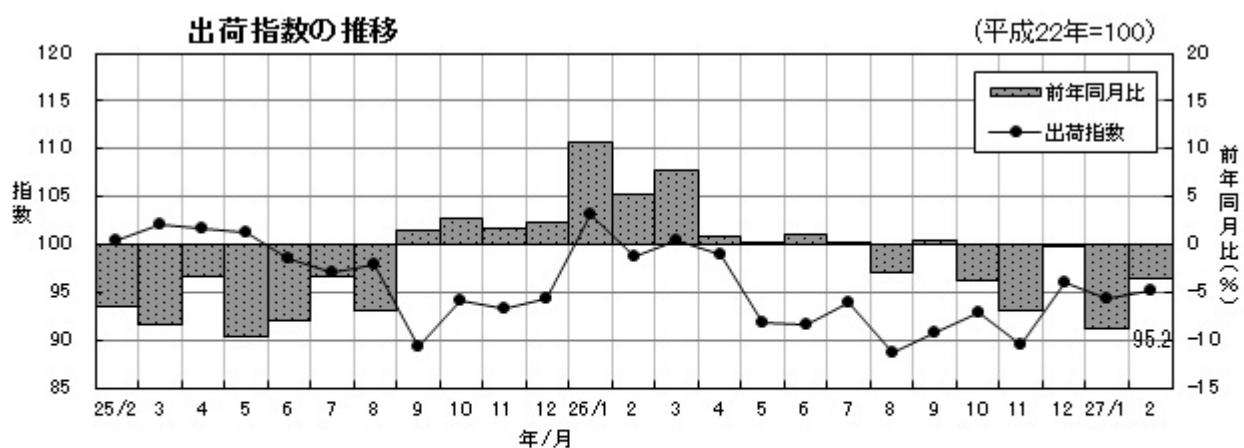


2 出荷指数の動き

平成27年2月の鉱工業出荷指数（季節調整済：平成22年=100）は**95.2**となり、**前月比は0.8%増と2か月ぶりに上昇**した。

また、**前年同月比（原指数）は3.6%減と5か月連続して前年を下回った**。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、化学、はん用・生産用・業務用機械等が上昇する一方、食料品・たばこ、電気機械、金属製品等が低下した。

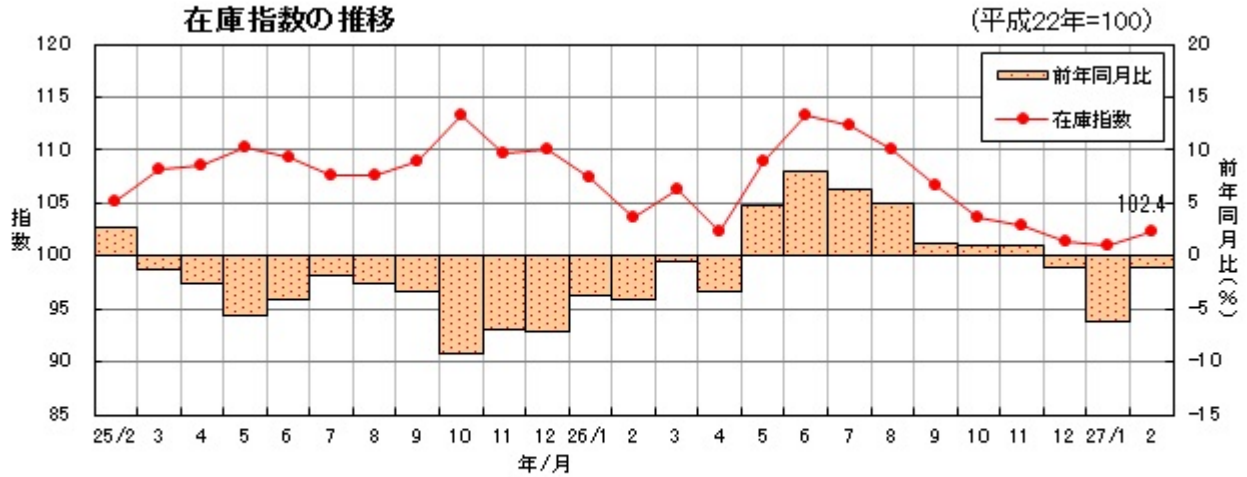


3 在庫指数の動き

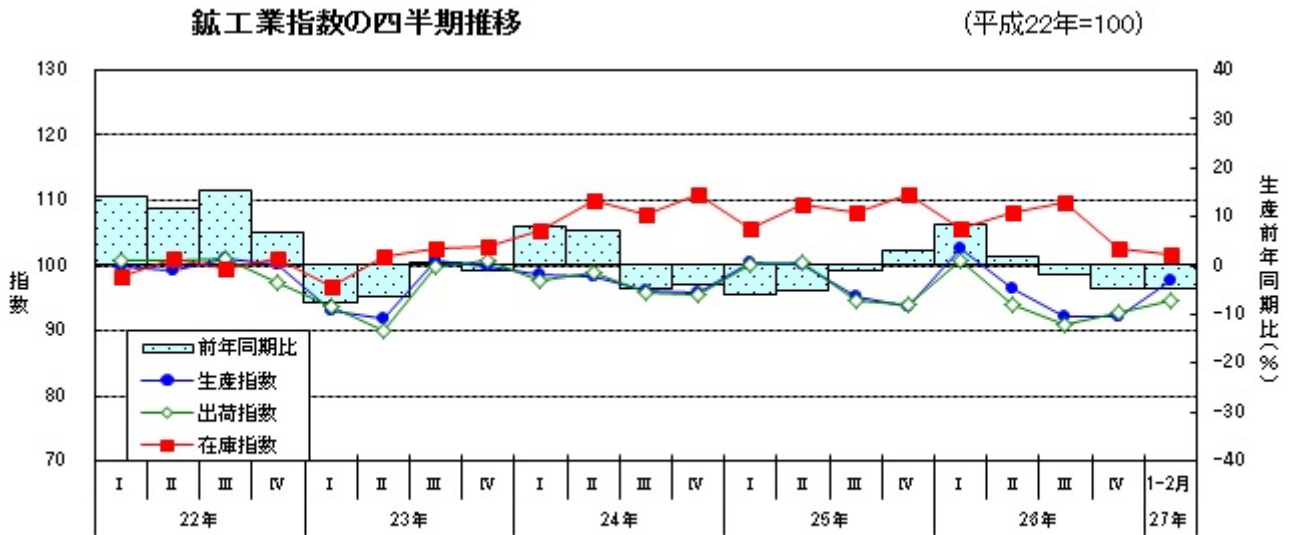
平成27年2月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成22年=100）は**102.4**となり、前月比は**2.0%増**と8か月ぶりに上昇した。

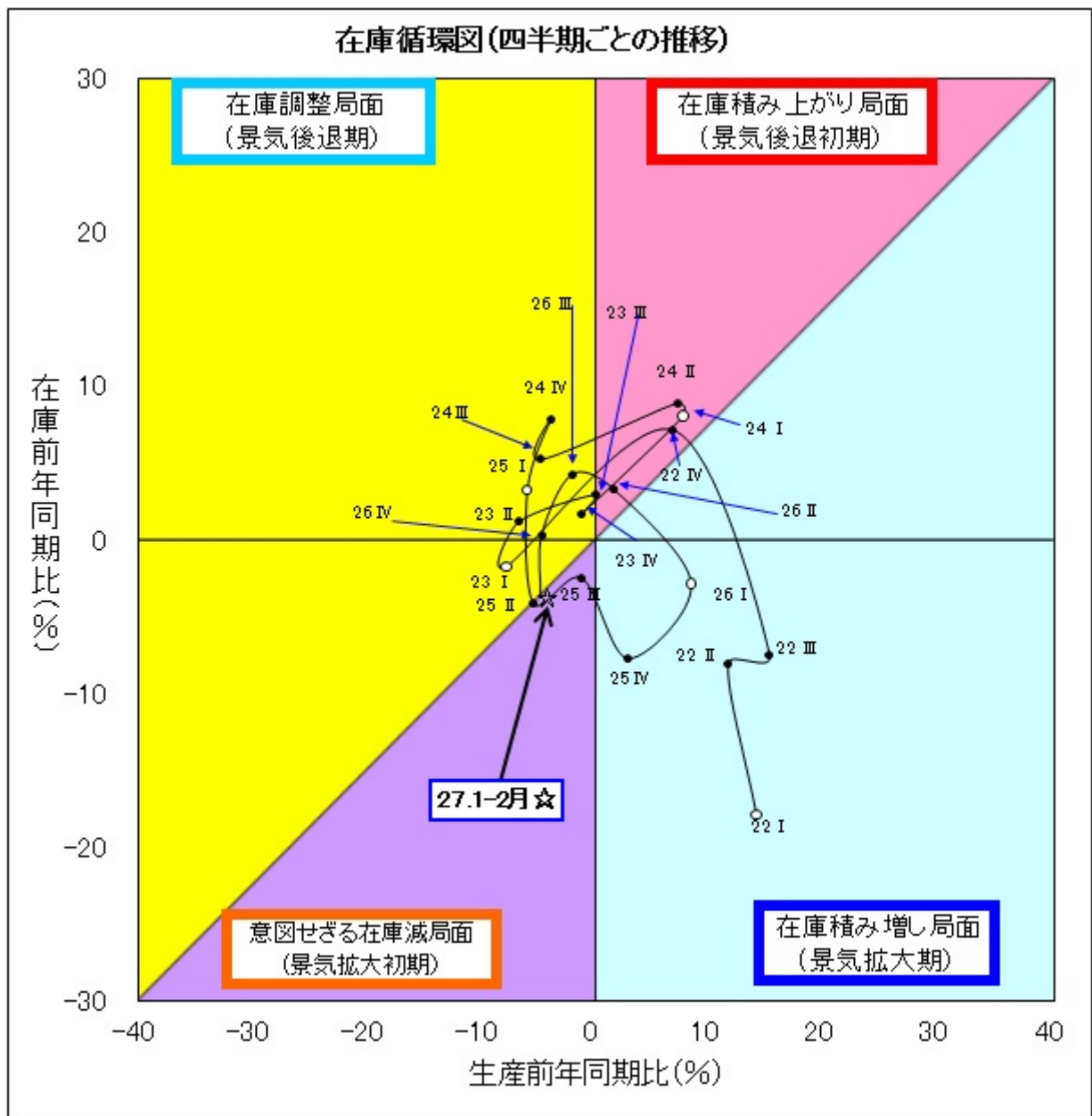
また、前年同月比（原指数）は**1.2%減**と3か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、パルプ・紙・紙加工品、窯業・土石製品等が上昇する一方、その他製品、化学、プラスチック製品等が低下した。



<参考1> 四半期推移及び在庫循環図





- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ・ **在庫調整局面 (景気後退期)**
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ☆ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期) ← 今季はここに該当**
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。